

平成26年度施策評価シート(平成25年度実施事業)

施策名	生涯学習	施策コード 5-2-1	作成主管課	公民館・図書館
			関係課	

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	第5章 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり〔教育・文化〕
	小政策	2 だれもが自ら学び、能力を発揮できる環境をつくります
現況と課題	<p>本格的な超高齢社会を迎え、社会・経済におけるグローバル化や高度情報化は、今後もますます発展するとされており、社会が成熟化したことに伴って、幅広い世代においてそれらを学ぶことへの意欲が高まっています。また、東日本大震災では、安心・安全に暮らしていくうえでの自主的な学習や情報収集の必要性が再認識されたとともに、持続可能な地域づくりや満足度が高い生涯をおくるという観点からも、学びや活動の場の必要性と重要性は増えています。</p> <p>本市では、学校教育と社会教育の連携を推進しながら、図書館、公民館といった生涯学習の拠点施設の整備や充実を努めてきたところ、市内図書館の平成21年度中における貸出実数は、人口8万人以上10万人未満の市町村では全国第1位となりました。また、各種の公民館講座の開設や小学生の学力向上事業など、学習機会の提供と意欲醸成のための発表の場の確保にも努めてきました。</p> <p>今後は、豊かで安心できる市民生活の基礎となるような資料・情報の提供やさまざまな学習の場の提供に努めます。また、生活の質の向上につながる生涯学習体制の整備・推進を図るとともに、その拠点となる生涯学習施設の適切な維持管理を進めていく必要があります。</p>	
施策目標	市民一人ひとりが、自主的・主体的に生涯にわたり学び続けられるよう、関係機関との連携を図りながら、適切な資料や情報を収集できる環境を構築し、学習機会の提供に努めます。また、生涯学習の拠点となる施設の計画的な整備及び維持管理を実施します。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	<p>【公民館】講座に抽選漏れした方々より、講座数を増やして欲しい等の要望があった。</p> <p>【図書館】平成25年度市民実感度アンケートにおいて充実していると感じているが64.06%で、充実していないの33.33%を上回っており、現状においては市民実感度の高い施策である。</p>
-------------	---

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
生涯学習をする施設(公民館・図書館等)が充実していると感じている市民の割合	市民実感度	73.050	57.210	64.060			
	加重平均値	2.960	2.694	2.796			
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		82.150	83.530			
	加重平均値		3.248	3.259			

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
図書館入館者数	目標値	人		535,000	537,000	539,000	541,000	543,000
	実績値	人	532,395	622,959	639,809			
	達成度	%		116.44	119.15			
	ベンチマーク							
図書館資料案内件数(レファレンス件数)	目標値	件		2,900	2,950	3,000	3,050	3,100
	実績値	件	1,951	6,051	7,430			
	達成度	%		208.66	251.86			
	ベンチマーク							
図書館資料展示回数	目標値	回		12	12	12	12	12
	実績値	回	9	31	53			
	達成度	%		258.33	441.66			
	ベンチマーク							
公民館利用者数	目標値			195,000	195,000	195,000	195,000	195,000
	実績値		194,055	158,411	182,037			
	達成度	%		81.24	93.35			
	ベンチマーク							

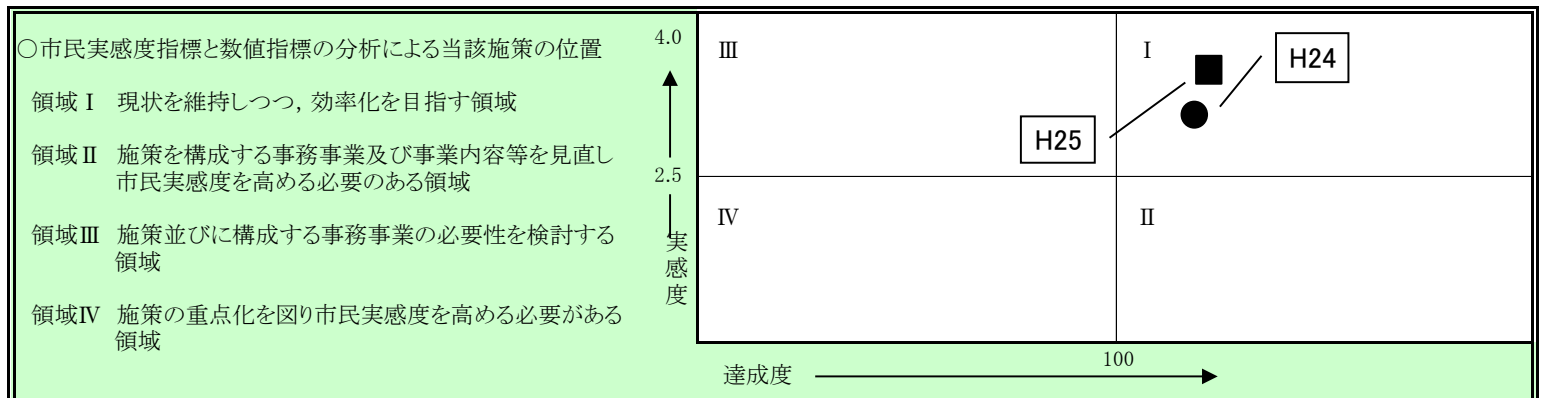
数値指標の考え方	指標設定の考え方	<p>【公民館】多くの人に来館していただくため、公民館利用者数を指標とした。</p> <p>【図書館】館利用の基本として入館者数、利用者が図書館資料を活用しやすくなるための人的支援の一つとしてレファレンス件数、図書館資料についての情報発信として特集展示をおさえた。</p>
	目標値設定の考え方	<p>【公民館】市民人口の減少化を考慮し、前年度の実績を維持することを目標とした。</p> <p>【図書館】H23年度実績を踏まえ年々の増加を見込み設定、資料展示に関しては3館それぞれに季節による切り替えを目標とした。</p>

2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	<p>市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種の資料・生涯学習情報や学習の機会、各施設を大いに活用する。</li> <li>自主サークルなど各団体の会員数や利用者数を増やす。</li> <li>市民各自が生きがいを持って生活し、市民交流も盛んにするよう努める。</li> </ul>
行政の役割	<p>市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民が継続的に生涯学習を行えるよう、資料や情報・施設・人的環境などを整備し、様々な生涯学習の機会とその成果を活用する機会を提供する。</li> <li>【公民館】各種の講座や教室、自主活動などの学習機会や公民館施設を提供し、市民交流を盛んにする。</li> <li>【図書館】多種多様な新しい図書館資料・情報を収集・提供し、人的支援や施設利用・集会事業などを通して市民生活を豊かにする。</li> </ul>

3 平成25年度の取組状況

取組状況等	<p>取り組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。</p> <p>【公民館】各種講座について、女性主体のものから男性また児童も参加できる講座の企画と実施により、多くの受講者が参加し、より広い生涯学習の機会を提供することにより、市民から高い充実感を得ることができた。</p> <p>【図書館】昨年同様に限られた予算の中で最大限の効果を上げるべく、3館調整による資料購入を実施した。また、レファレンスや資料の展示、各種講座やおはなし会などの実施、各種情報発信や関係機関・部所との連携により、多くの市民に生涯学習実践の機会と場を提供した。</p>
-------	--



指標を分析した結果施策目標は達成されたのか

達成度評価	<p>【公民館】目標指標である公民館利用者数については、目標値の達成にはいたらなかったがH24年度と比べて12ポイントほど上昇した。</p> <p>【図書館】現在の指標は3点であり、すべての項目で昨年を上回ることができた。また、市民アンケート調査での実感度においても昨年を上回ることが出来た。これは、利用者への各種生涯学習機会の提供等が成果となっているものと思われる。</p>
-------	--

構成事務事業の適正性

構成事務事業の適正性	<p>【公民館】施策目標を達成するための事務事業の構成としては適正である。</p> <p>【図書館】構成事務事業は図書館の基本運営事項(施設・資料活用等)によるもので、市民への生涯学習機会の提供として適切なものであり今後も継続していきたい。</p>
------------	--

平成26年度以降に残る課題、その要因として考えられること。

残された課題	<p>【公民館】①公民館「特区」の認定 公民館設置は、社会教育法などで活用は限定されているが、幅広い地域の拠点としての公民館活動・活用が必要のなか公民館をコミュニティセンターに替え利用しやすい施設にする。</p> <p>②自主サークル活動が盛んななか慢性的な活動場所不足の解消等が課題である。</p> <p>【図書館】笠間市立図書館は貸出実績においては全国でのトップレベル、その他開館時間・利用者数などにおいては県内トップクラスの実績を上げている。しかしながら近年の資料費の削減により、市民の要望に対応するのが困難な状況になりつつある。</p>
--------	--

5 今後の方向性

取組方針	<p>平成27年度に向けた施策方針</p> <p>【公民館】施策目標である学習機会の提供と生涯学習の拠点となる施設として、市民のニーズを的確に把握し、そのニーズにあった事業を展開していく。</p> <p>【図書館】限られた予算を最大限に活用するため、3館での購入資料調整を継続していく。ただし、現行予算での資料入替率(開架書架)は5%弱であるが、8%程度の入替率は実施していきたい。</p>
------	---

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			貢献度評価
			成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
1	社会教育事業	社会教育行政の円滑な推進を図るため、社会教育委員(12名)並びに社会教育指導員(6名)を委嘱している。	社会教育委員の助言案件数 社会教育指導員の企画事業数	件	0 2	1 0	1 0	市単	5,055	5,085	5,085	義務的事業
2	花によるまちづくり事業	環境美化意識や自然を愛する感性を育むとともに、花づくりをとおして地域コミュニティの再生・活性化を図る。	参加申込団体数	団体	153	180	161	市単	1,972	963	948	8
3	家庭教育事業	子ども達の健やかな成長と、家庭における教育力の向上を目指し、市内幼稚園、保育園、保育所、小学校、中学校において、家庭教育学級を開設(40学級)する	学級開催回数	回	141	142	133	市単	250	239	207	6
4	学校施設開放事業	市民に開放できる、多目的室を備える、学校施設(大原小・友部中・岩間中)を開放し、地域住民の社会教育活動の場として提供する。	施設利用者数	人	1,966	4,473	3,187	市単	206	279	186	8
5	笠間市岩間体験学習館(分校)管理運営事業	体験学習館として、図工教室や各種教室等、年間を通して利用促進する。	施設利用件数 施設利用者数	件 人	280 5,398	283 6,319	399 11,488	市単	1,590	585	902	8
6	旧第二分校維持管理事業	旧第二分校の現状は、敷地のみで地域の住民が草刈等を実施し、外灯とトイレの汲取り料を支出している。	-	-	-	-	市単	9	35	294	12	
7	社会教育推進事業補助金事務	市内にある社会教育関係の各種団体が、地域の特性を生かし、市民を対象とした事業・活動を展開していくために必要な経費に対し補助する。	事業申請受理数	件	4	7	6	市単	397	404	455	8
8	公民館施設維持管理事業(笠間)	昭和57年に建設され、老朽化が進むなか、利用者が安全安心に利用、さらに利便性を高めるため、定期的な点検と必要に応じての改修、改善を実施している。	公民館利用者数	人	78,939	61,232	50,334	市単	20,857	19,942	22,321	3
9	公民館予約調整及び使用料徴収事業(笠間)	窓口または電話による適正な貸館業務と料金徴収。定期利用団体との利用調整。	有料の使用件数 有料の使用料 無料の使用件数	件 円 件	121 1,309 3,120	144 1,184 3,240	99 780 3,130	-	-	-	-	義務的事業
10	定期・短期講座開設事業(笠間)	市民の教育の向上、健康増進等を図れるような各種講座を開設し、生活文化の振興に寄与することを目的とする。	講座数 参加延べ人数	講座 人	14 947	17 1,247	11 937	市単	580	590	354	2
11	サタデーまなBe～事業(笠間)	生活体験、社会体験や自然体験が豊かな人間性などを育み充実した余暇活動の一環として実施する。	開催回数 参加延べ人数	回 人	6 57	6 126	30 138	市単	36	10	26	9
12	サマースクール事業(笠間)	夏休み期間中において児童が自ら参加する自然体験等の機会を提供する。	開催回数 参加延べ人数	回 人	5 156	5 79	5 75	市単	9	10	25	9
13	地区公民館施設維持管理事業	市民が常に、快適に地区公民館を利用できるように施設の維持管理を行う。	公民館利用者数 修繕箇所	人 件 箇所	46,416 8	46,631 9	53,103 29	市単	5,943	6,566	6,554	8
14	地区公民館連絡協議会事業	地区公民館の計画的利用や社会教育の充実。地区のイベントや伝統行事の承継・コミュニティ活動の充実を図る。	事業回数 事業参加者数	回 人	3,349 46,416	3,464 46,631	3,332 53,103	市単	2,621	2,337	2,073	6
15	女性学級事業	地域において女性が生涯学習を寄り活発に行えるように女性自らが目標を掲げ、計画的・継続的に学びあえる機会を提供し、幅広い知識を身につけ、指導者となる育成を図る。	開催回数 参加延べ人数	回 人	72 1,040	76 1,150	66 1,026	市単	-	440	341	10
16	市民囲碁将棋大会事業	日頃の練習成果の発表の場と機会を提供することにより、本市の囲碁・将棋の発展を図る。また、多くの市民が参加することによって、より豊かな生活文化と市民の連帯意識を高揚する。	参加人数	人	78	70	57	市単	63	41	36	11
17	公民館運営審議会事業	社会教育法第29条に規定する審議会であり、館長の諮問に応じ公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議する。	審議委員会	回	7	1	1	市単	315	0	0	1
18	笠間公民館大ホール舞台機構改修事業	大ホールの舞台機構に係る操作盤・制御盤・滑車(手動作動)・ワイヤー等の交換工事を実施した。(H24年度)滑車(電動部)・ワイヤー・反射板(モーター部)等の交換工事を実施した。(H25年度)	修繕工事	式	-	1	1	市単 補助	-	20,580	51,933	12
事業費合計									146,030	291,188	204,471	



シート3-2 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果			補助区分	事業費(千円)			貢献度評価			
			成果指標	単位	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成23年度		平成24年度	平成25年度	
19	公民館施設維持管理事業(友部)	昭和52年に建設され、老朽化が進むなか、利用者が安全安心に利用。さらに利便性を高めるため、定期的な点検と必要に応じて	維持管理事業	公民館利用者数	人	96,949	66,031	102,737	国補助	11,926	9,496	13,080	3
20	公民館予約調整及び使用料徴収事業(友部)	窓口または電話による適正な貸館業務と料金徴収。定期利用団体との利用調整。	義務的事業	有料の使用件数 有料の使用料 無料の使用件数	件 円 件	194 842,000 5,118	124 743,000 3,382	205 933,575 5,803	—	—	—	—	義務的事業
21	定期・短期講座開設事業(友部)	市民の教育の向上、健康増進等を図れるような各種講座を開設し、生活文化の振興に寄与することを目的とする。	政策的事業	講座数 参加延べ人数	講座 人	18 1,654	16 1,842	16 1,671	市単	887	835	817	2
22	まなBe～わんぱく事業(友部)	笠間市内の小学生を対象に講座を企画し6月から2月までの間、芸術・文化・体験を通して異年齢の交流を図る。	政策的事業	開催回数 参加延べ人数	回 人	8 196	6 146	6 142	市単	23	23	23	10
23	サマースクール事業(友部)	笠間市内の小学生を対象に講座を企画し7・8月の夏休み期間中、芸術・文化・体験を通して異年齢の交流を図る。	政策的事業	開催回数 参加延べ人数	回 人	5 157	5 135	5 138	市単	9	18	27	10
24	友部公民館大規模改修事業(耐震補強・石綿除去・災害復旧)	耐震診断結果により、本館及び体育室棟の補強工事、震災で被害を受けた体育室棟の補修工事、大ホール等の改修工事を実施した。	建設・整備事業	修繕工事	式	—	1	—	国補助	—	126,294	—	12
25	公民館施設維持管理事業(岩間)	市民が安全安心に公民館を利用できるよう、さらに利便性を高めるため、定期的な点検と必要に応じての改修、改善を実施している。	維持管理事業	公民館利用者数	人	28,451	34,503	28,966	市単	1,129	1,175	1,141	4
26	公民館予約調整使用料徴収事業(岩間)	市民の窓口や電話からの貸し館予約申請や、定期利用団体との利用調整、料金徴収を適正に行うため実施している。	義務的事業	有料の使用件数 有料の使用料 無料の使用件数	件 円 件	21 74,250 1,907	28 88,650 2,398	23 57,100 2,103	—	—	—	—	義務的事業
27	定期・短期講座開設事業(岩間)	市民の教育の向上、健康増進等を図れるような各種講座を開設し、生活文化の振興に寄与することを目的とする。	政策的事業	講座数 参加延べ人数	講座 人	15 1,704	12 1,048	13 970	市単	943	799	620	2
28	まなBE～土曜塾事業(岩間)	笠間市内の小学生を対象に講座を企画し6月から2月までの間、芸術・文化・体験を通して異年齢の交流を図る。	政策的事業	開催回数 参加延べ人数	回 人	8 161	6 135	6 135	市単	27	62	43	10
29	サマースクール事業(岩間)	笠間市内の小学生を対象に講座を企画し7・8月の夏休み期間中、芸術・文化・体験を通して異年齢の交流を図る。	政策的事業	開催回数 参加延べ人数	回 人	5 150	5 124	5 129	市単	28	53	38	10
30	図書館管理運営事業(笠間)	図書館法に定められた図書館サービスが円滑に実施されるための維持管理事業。施設設備保守管理の一部は外部に委託している。	維持管理事業	入館者数	人	256,226	230,617	273,543	市単	18,785	16,883	15,393	3
31	図書館サービス事業(笠間)	図書館法に基づいた図書館の基本的事業(市民の生活に必要な様々な資料や各種の情報・学習機会の提供を行い、市民の教養・調査研究・レクリエーション等に資する事業)である。	政策的事業	入館者数 資料貸出数 市民一人当たりの貸出数	人 点 点	256,226 572,460 20	230,617 537,351 20	273,543 493,377 18	市単	25,213	22,126	20,231	1
32	子ども読書活動推進事業(笠間)	「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年)の成立により、本市でも平成20年3月「笠間市子ども読書活動推進計画」が策定され、「市立図書館の整備」や「市立図書館と学校図書館の連携・協力」等が方針としてあげられている。	政策的事業	高校生までの貸出冊数 ブックスタート参加者数 お話し会・フェスティバル参加者数	冊 人 人	169 1,667	149 1,160	80,531 115 1,190	市単	3,918	389	138	5
33	図書館管理運営事業(友部)	図書館法に定められた図書館サービスが円滑に実施されるための維持管理事業。施設設備保守管理の一部は外部に委託している。	維持管理事業	入館者数	人	274,114	274,110	250,641	市単	18,760	23,776	28,981	3
34	図書館サービス事業(友部)	図書館サービス事業は、市民の生活に必要な様々な資料・各種講座の提供や広い分野において市民が求める情報を提供し、市民の教養・調査研究・レクリエーション等に資する事業。	政策的事業	入館者数 資料貸出数 市民一人当たりの貸出数	人 点 点	274,114 548,673 15	274,110 542,629 15	250,641 504,079 14	市単	16,940	20,027	21,656	1
35	子ども読書活動推進事業(友部)	「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年)の成立により、本市でも平成20年3月「笠間市子ども読書活動推進計画」が策定され、「市立図書館の整備」や「市立図書館と学校図書館の連携・協力」等が方針としてあげられている。	政策的事業	高校生までの貸出冊数 ブックスタート参加者数 お話し会・フェスティバル参加者数	冊 人 人	92,538 271 3,988	87,465 279 4,222	86,392 263 3,634	市単	40	422	122	5
36	図書館管理運営事業(岩間)	図書館法に定められた図書館の主要サービス(図書館サービス事業)が円滑に実施されるために必要不可欠である。	維持管理事業	入館者数	人	111,383	118,232	115,625	市単	20	930	184	3
37	図書館サービス事業(岩間)	図書資料及び、視聴覚資料の貸出は、図書館法における図書館業務の根幹をなす業務。	政策的事業	入館者数 資料貸出数 市民一人当たりの貸出数	人 点 点	111,383 220,702 15	118,232 230,449 15	115,625 217,178 14	市単	7,440	9,523	10,137	1



# シート1 施策構成事務事業目的直結度評価

施策名 生涯学習



法定受託事務(義務的事業に分類) 公民館予約調整及び使用料徴収事業(笠間) 公民館予約調整及び使用料徴収事業(友部) 公民館予約調整及び使用料徴収事業(岩間)
--

事務事業の成果基準の説明
--------------

